新企画「〇〇ができるまで」

話す人: フィーネ・ラグサズ

話す人

フィーネ・ラグサズ

- うかべん@横浜主催
- ゴーストマスター、代表作はカッシーニの空隙
- サイト Feathery Instrument
  - http://blankrune.sakura.ne.jp

新企画「〇〇ができるまで」

背景
うかべんによせられる要望や質問を整理していくと、
- どうやって形にしていくのか
- どのように発想を得ていくのか

というものが多い。

今までは「どうやって形にしていくのか」について具体的に取り上げてきた（いただいた）

それでもやはりこれらの要望は絶えない。
- 人によってやり方が異なるから?
  - ならいろんな人にもっと話してもらったらいいのでは?

具体的には?

- 何を見てひらめいたのか?
- きっかけは?
- 作るのに参考にする資料は?
- どんな方法で形にしていったのか?

などについて5分から15分程度のライトニングトークで語る。
たとえば、サーフィスを描く際にどんな本を参考にしているのか取り上げて話をしてもいいし、ひらめくところから作る過程、完成するまでざっくばらんに話してもいい。

実際にやってみた

例としてカッシー二の空隙のきっかけとキャラクター設定をどう考えたかについてさくっと。

カッシーニの空隙（の設定）ができるまで

- シェルから入った
  - フリーシェル「P&W&F」を見た時にひらめいた
  - いざ、シェルをいじろうにも技術力不足で挫折
  - さらに調べてサトウ　Mさんのフリーシェル「しろ」を採用
- 目指す方向性
  - ツンデレ
  - 観察者
    - 作中において、人を観察するポジションが欲しかった

設定の元ネタと基本

- 世界観や種族などの設定はProject Roche Limitの設定を流用
- 性格面の設定は思考傾向を中心にした
  - がちがちに固めるとあとでいじれなくなるので方向だけ
  - 考えた結果が次のスライド
- 傾向をベースにして趣味などの設定を考えた
  - こういう性格の子ならこういうものが好みだろう、と連想
  - 育ての親や周囲の意向を想像した

設定部分の抜粋

現物はゴースト同梱のmemo.txt参照

- 誰かに甘えたいけれども、甘えられない。
- 誰かと話をしたいのだけれども、話せない。
- 素直になりたいのだけれども、素直になれない。
- 笑顔でいたいけれども、笑顔ができない。
- ヒトのそばにいたいけれども、傷つけてしまうことを恐れ、距離をとってしまう。
- 何もわからずに存在していた、空隙の時間を埋めたい。
- ちょっとしたことで悲しむからヒトが嫌い。
- ちょっとしたことで喜ぶからヒトが好き。

こんな感じの傾向を考えた。

どうやって考えたのか

- キャラクター自体はショートストーリーに登場しているので、その子を土台にした
- ショートストーリーの中での経験を通じて、どのような変化が起こったのかを想像しながら考える
- キャラクター本人(?)のほか、住んでいる世界やキャラクターの経験する出来事の設定も必要
- 基本的にフィーリング
- 応用的にフィーリング

まとめ

- 「もし、こういう性格の人間がいたとして、この状況に遭遇したらどうなるだろう?」という姿勢で想像する。
- 想像した結果から傾向を書き出す。

とこんな感じ

あくまで一例なので、このようにやる必要はない。
参考として見てもらえれば幸い。

続いて、講師になるにはどうするのか、という話を。

全体の流れ

1. 事前登録の申し込みフォームに書き込むか主催に声をかける
    - 話す内容と地域を教えてもらえると、あとがスムーズ
2. 主催が返答する
    - 基本的には講師をお願いしてます
    - その後、詳細のメールを送ります
3. 提出物を提出する
    - 提出物については、次のページで
4. 当日、会場で発表する

という流れ。

提出物について

うかべんで提出をお願いしているものは次の通り

- サイトに掲載する概要・プロフィール
  - 詳細ページにある紹介
- 発表する内容をA4一枚にまとめた前刷り
- 当日、発表に使うスライド
  - 今、見ているこれ
- 前刷りとスライドはPDFに変換したものをサイトにアップ
- スライドはMS PowerPointやOpenOfice.org Impress形式

発表について

- 今回は開場前に来てもらってリハーサル
  - 今回は午前中にリハーサル
- 発表時間
  - ライトニングトーク（5分から15分）
    - 今回の新企画もここに
  - 大枠（15分から1時間、だいたい30分）
  - 質疑応答も含まれる
- 内容
  - 伺か的であれば何でも

最後に

- あまり難しく考えたりはしないで気軽にどうぞ